



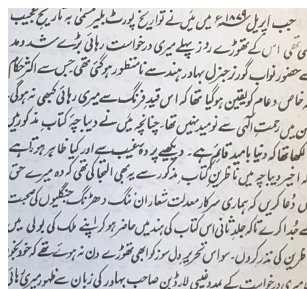
マンスリー 多文化サロン

英領インドの大いなる陰謀

キプリングの小説『キム』(1901年)は、北インドから中央アジアにかけて張り巡らされた反イギリスの大陰謀を、少年キムが冒険の末に打ち砕く物語です。こうした陰謀のイメージは、テロリズムや狂信的信仰といったものと重ね合わされてきました。しかし歴史資料からは、19世紀後半のインドでは、実に多様な思惑のもとで「陰謀」のイメージが語られていたことが見えてきます。英領インドの大陰謀を読み解いた末に、キムの冒険はどのように見えてくるのでしょうか。

宮本 隆史 (大阪大学 人文学研究科 外国学専攻 助教)

東京外国語大学ウルドゥー語専攻卒業、東京大学総合文化研究科博士後期課程単位取得退学。修士(学術)。専門は南アジア近代史。



5月19日
開催!

会場は大阪大学
箕面キャンパス
です!

【日時】2022年5月19日(木) 19:00-20:00

【場所】大阪大学 箕面キャンパス 1F 大講義室

大阪府箕面市船場東3丁目5-10

またはオンライン(参加者にはリンクをお知らせします)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催のみとなる場合があります。

【お申込受付】2022年5月5日(平日9-17時 5月16日×切)

下記のURL/右記のQRコードの登録フォームにて

<https://forms.office.com/r/Q5yw72ZuwD>

または大阪大学外国語学部 ☎ 072-730-5013

✉ jimbun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp

※17日を過ぎても連絡メール不着の場合は、担当者までお知らせください。

【参加費】無料

APRIL 2021

OSAKA UNIVERSITY
NEW MINOH CAMPUS



登録フォームはこちら

主催：大阪大学外国語学部

協力：みのお市民活動センター